

ひめじ市民法律事務所

# 市民法律だより

## 明けましておめでとうございます

「物語。人間の共同体には、そのような存在と言葉が、  
必須の栄養素のように不可欠だ。」

今年、赤坂真理さんの「愛と性と存在のはなし」(NHK出版新書 640)から。

「戦争で誰が傷つくか。ずっと未来の人も含む、すべての人たち。現在におけるヴァイツゼッカーの最良の後継は、統一を果たした同国のアンゲラ・メルケルだと私は思う。今世界を見渡してみても、危機や岐路で最も的確に、そしてあたたかく、その国の民や、のみならず世界中の人たちを導き、励まし、灯台のようになってきたのは、メルケルだった。父性的なリーダーシップと、女性の目線や細やかさと母性的プレゼンスが、同時にそこにあるのを見る。そしてそれは、誰かを力づけるために、別の誰かを傷つけ、貶めるものであってはならない。」

この言葉は、ドイツの人たちと日本にいる私たちの、戦後、そして現在の来し方を思い起こさせます。

法律事務所に持ち込まれる事柄に含まれる切実な痛み・悩みに、これからも、できるだけ的確に、あたたかく、細やかに応えたい。弊社だけではなく、弁護士界や司法界で働く仲間もどうかそのようでありたい。そうした努力が、きっと私たちの国の物語をつむぎ、私たちの国にやがては、メルケルのようなリーダーを生み出すことにつながると信じて。

皆様の益々のご健康とご多幸を祈念して、新年のご挨拶といたします。

2022年(寅年)正月

所 員 一 同



### 発行責任者

〒670-0952 姫路市南条10-4

ひめじ市民法律事務所

弁護士 平 田 元 秀

電話 079-282-0430

FAX 079-282-0433

<http://himejishimin.com/>

### 事務所営業時間

月～金 午前9時30分

～午後6時

土曜日 午前中 予約相談あり

### コンテンツ

新年のご挨拶	1
弁護士の小話	2
事務所行事	3
修習を終えて	3
お城の北側をぶらり	4
編集後記	4

## なんとかテクノロジーと日本人のルーツと

平田元秀

わが国のコロナ新規感染者数は、2021年8月26日の25,000人をピークに急減し、昨日11月22日は50人だ。ワクチン2回接種率が、76.7%に達したことで、いったん国内に集団免疫ができたことが、急減の原因だと見るのが自然である。治療薬・予防薬の開発・承認の進展に、追加接種用ワクチンの量の確保も合わせてみると、第6波を警戒しつつも、2022年は、アフターコロナの年となるはずだ。

さて、明けてみると、「2030年すべてが『加速』する世界に備えよ」（ピーター・ディアマンディスほか2020年12月初版）の時代が待っていた。やっぱり。

技術がコンピュータでデジタル化されることで、指数関数的な技術革新の加速が何度も起こる時代の中、量子コンピュータ、ナノテク、バイオテクノロジー、材料科学、センサー、3Dプリント、AR・VR、ブロックチェーンなどの技術革新が融合しつつ加速し、AIの閾値が現実味をもって語られる時代。



このエクスポなんとテクノロジーの加速力を身近に感じたのは、ここ数年、特に2021年の「日本人のルーツ論」に関する実証的論文展開の早さからである。

以下は、国立遺伝学研究所の斎藤成也教授のYouTube・論文とイギリスの科学誌Natureサイトのマックス・プランク人類学研究所論文（及びこれを紹介する11月22日付毎日夕刊）に頼った話である。

世界的に展開する次世代シーケンサーの技術を用いたDNA解析。これに、言語学の膨大なデータベースと、考古学の成果を組み合わせた「三角測量」的な人類史の実証。

縄文人は、2~3万年前にパプアニューギニア人と別れた祖先の子孫で、そこから、約1万5千年前にアメリカ先住民が分岐する。さらにそこから7千年ほど前に、東アジア人が分岐する。縄文人は陸続きの大陸から列島に渡ってきて、九州から海伝いに沖縄・

宮古島に達する。約3千年前（紀元前1,000年）に、縄文文化の日本に水田稲作農耕を伴って、朝鮮半島から九州北部に「日琉語族」（東西日本語と琉球語の元となる言語を話す人々）が渡来する。弥生時代の始まりである。大陸系弥生人は縄文人と混血するが、縄文人のDNAは現在の本土の日本人の中に10数%を残すのみである。現在の本土と琉球の日本人のDNA形成に最も大きく寄与した母集団は現在の韓国人の母集団と共通することがゲノム解析で判明している。

弥生人が列島に渡来した約3千年前には、まだ縄文人が半島南端にも分布していたが、現在の韓国人に縄文人のDNAは残っていない。

韓国語と日本語とは母語が共通なのではないかということは、新井白石と本居宣長以来、誰かが口にしては誰かが待ったを掛けてきた論点であるが、11月10日発表のNature 詩で、マックス・プランク研究所の論文は、韓国語も日本語も、9千年前の中国東北地方（西遼河流域）に住んでいた農耕民の用いていた言葉（トランスユーラシア語）を紀元とし、農業の普及伝播に伴い言葉も広がったとし、ツングース語、韓国語がここから派生し、日本語（日琉語族）はそこから分岐したと「三角測量」結果を発表した。客観的に考えて、そりゃそうだろうと思う。

こうした知見は、デジタル化に伴う指数関数的な技術革新の結果、反証しがたい結論として科学が提示してきている知見だ。地球は、このままでは、氷が溶け、メタンが出て、温室化の後戻りできない閾値に達するのに10年程度と言う。その呑み込みにくさと比べ、どちらがどうだろうか。

標準事実は、地球は丸いという事実と同様に伝わり、宗教感情で押しとどめることは困難だ。標準事実を受け止めてこそ、私たちの家族や組織や社会や政府や国や地球が、いかに脆くて、だからこそ、いかにありがたいかを、この掌の上に置いて考えることができる。

科学者に、改めて感謝したい。

(2021年11月23日記)

## 事務所旅行



夏から秋に移動した事務所旅行。久しぶりに淡路島に1泊してきました。

1日目は鳴門のホテルリッジにあるフレンチレストランで昼食。お天気にも恵まれテラスから鳴門大橋を一望。その後、大塚国際美術館で陶板名画をゆっくり鑑賞。私はカラヴァッジョやクールベを中心に観て回りました。

夜は宿泊先のグランドニッコー淡路で地元産にこだわったフレンチディナーを満喫。

2日目は洲本の平岡農園でレモンとみかん狩り。

レモンは2品種。みかんは目印の付いた木々を渡り歩き、食べながら採ったものを袋に入れていきます。収穫したみかんはどれも甘くて美味しかったです。レモンやみかんの木の育て方も色々教えてもらいました。

割烹寿司の昼食後、締めくくりは幸せのパンケーキ淡路島テラスへ。この日は曇っていますが、空中へ続く階段や岬のブランコなど海に面した眺望は素晴らしく、晴れた日にまた行ってみたいです。今回は美味しいものを堪能した旅行になりました。

(美)



## 事務所研修



月に一度、新しく変わった制度の勉強や、情報の共有・確認などを行うため、所員全員で研修会を行っています。

第133回目の講師は、中川修習生でした。所有者不明土地問題を解決するために公布された「民

法等の一部を改正する法律」及び「相続等により取得した所有権の国庫への帰属に関する法律」について、報告していただきました。

身近な問題として、質疑応答が飛び交い、有意義な研修になりました。

(M)

## 修習を終えて

第74期司法修習生 中川 雄 矢

初めまして、第74期司法修習生の中川雄矢と申します。弁護修習では平田先生の事務所でお世話になりました。

突然ですが、弁護士法には「弁護士は、基本的人権を擁護し、社会正義をすることを使命とする。」という規定があります。

大学生だった私は、収入が安定している国家公務員を志望していました。そして、転職の必要がなく家庭を振り回すことのない弁護士を目指すようになりました。もともと安定志向が強かったのです。弁護士という職業それ自体にあまり魅力を感じていなかった私は、今回の修習を通じてこの条文の重みを痛感することになりました。

私は2か月間、平田先生に対して、日々の弁護士活動、時の政治問題や社会的な事件など、多くのことを尋ねました。すると、まるで用意していたかのように答えが返ってくるのです。平田先生は、基本的人権とは何か、社会正義とは何か、日々の弁護士業務においてこれらのことを常に追求し続けている。だからこそどんな問題にも信念を持って答えを導ける。その姿から私は、我が国の司法制度において弁護士に託された使命の重さを痛感しました。

改めて平田先生をはじめ事務員の方々には大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。ここで学んだことは今後の私の法曹人生に生かされると信じております。





## ～お城の北側をぶらり～



姫路城から北へ歩いて15分くらい。みなと銀行のある信号を西に入ったところに「PARLAND COFFEE」というお店があります。

カフェ入り口までの中庭には、ハーブが植えられ、まるで雑木林の中に佇む隠れ家のような作りになっています。



店内は、シックな雰囲気

にまとめられていて、そこから、ガラスの引き戸で仕切られたウッドデッキのテラス席へ出ることができます。



ガトーショコラとカフェラテを注文し、私もテラス席へ。ガラスの引き戸を開けて、テラスへ出る感じも素敵でした。そこには、すでに先客があり、本を片手に、ゆったりとした時間を過ごしておられました。木漏れ日の下、美味しいコーヒーと本。お店の方は、こういう時間を大切にしてほしいと、このお店を作られたように感じました。



迷った時は、店員さんに尋ねると、丁寧に説明してくださいませよ。

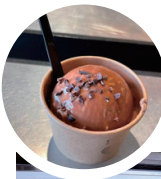
そこから、もう少し西へ、5分ほど歩いてみると、「CHOCODAKE」というチョコレート専門店に出会います。

お店のドアを開けると、チョコレートの香りに包まれます。これだけで、もう幸せ♡

店内には、いろいろな種類のクーベルチュール・チョコレートがあり、グラム単位で購入することができます。この種類豊富なクーベルチュール・チョコレート



を使ったアイスクリームもオススメです。濃厚さは、カカオの分量によって違って、好みの味を探すのも楽しいと思います。



冬は、チョコレートの美味しい季節。これから迎えるバレンタインデーに、大切な人にプレゼントしてみたいはいかがでしょうか？



今回は、お城の北側をぶらり。天気の良い日に、スニーカーをおろして、歩いてみるのもいいですね。

(M)

### 編集後記

新年 おめでとうございます。

昨年も、コロナ関連のニュースがない日はありませんでしたが、幅広い年代のワクチン接種が進み、次のステージに入ったようにも感じる一年でした。

また更なる希望の光があると信じて、今年も一年、元気で過ごしたいと思います。

皆様にとって、明るい一年になりますように。

本年もよろしく願いいたします。

(M)